

# 果 菜 類

- き ゆ う り
- ス イ ー ト コ ー ン
- ズ ッ キ ー ニ
- す い か
- ピ ー マ ン ・ パ プ リ カ
- さ や い ん げ ん
- ト マ ト
- ミ ニ ト マ ト
- ジ ュ ー ス 用 ト マ ト
- な す
- い ち ご

# きゅうり登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容2024年9月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率-使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		P2	オレゼメート粒剤	定植時	1回	6~7.5kg(5g/株)	—	斑点細菌病	○	×	粒剤	植穴土壌混和	フロベナゾール	
		M5	ダクニール1000	播種時又は活着後(定植14日後まで) 収穫前日まで	2回以内 12回以内	1,000倍(3g/1m <sup>2</sup> ) 1,000倍(100~300g)	— 100ml	苗立枯病(リゾクトニア菌) べと病、炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、黒星病、褐斑病	○	×	フロアブル	土壌灌注 散布	TPN	同成分剤の使用回数に注意
		40、M5	プロボーズ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~67g 100g	べと病 褐斑病、黒星病、うどんこ病	○	○	顆粒水和剤	散布	TPN、ベンチアバリカルブイソプロピル	同成分剤の使用回数に注意 浸透性あり
		40、M1	フェスティバルC水和剤	収穫前日まで	3回以内	600~800倍(100~300g)	167~125g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモフ・塩基性塩化銅	
		M1	キノドーフロアブル	収穫前日まで	5回以内	1,200~1,500倍(100~300g) 1,200倍(100~300g)	83~67ml 83ml	斑点細菌病 炭そ病、べと病	○	×	フロアブル	散布	有機銅	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~300g)	200g	斑点細菌病、褐斑病、べと病、うどんこ病	○	×	水和剤	散布	ノニフェノールスルホン酸銅	
		M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~300g)	200ml	べと病、うどんこ病、コウジラミ類、ハダニ類、アブラムシ類	○	×	乳剤	散布	DBEDC	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍(100~300g)	100g	斑点細菌病、うどんこ病、べと病	○	○	水和剤	散布	カスカマイシ、塩基性塩化銅	耐雨性あり
		NC、M1	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	750~1,500倍(150~500g) 1,000倍(150~500g)	133~67g 100g	斑点細菌病 灰色かび病	○	×	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅	
		3、M3	テーク水和剤	収穫前日まで	3回以内	600~800倍(100~300g)	167~125g	うどんこ病、べと病、灰色かび病、褐斑病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	シモノゾール、マンゼブ	
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	3,000~5,000倍(100~300g)	33~20g	うどんこ病、黒星病、つる枯病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	
		19	ポリオキシソル水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	うどんこ病、灰色かび病、ハダニ類、アザミウマ類	○	○	水溶剤	散布	ポリオキシソル複合体	
		M7	ベルコート水和剤	収穫前日まで	7回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	うどんこ病、灰色かび病、炭疽病 褐斑病	○	△	水和剤	散布	イミノクダジナルベシル酸塩	同成分剤の使用回数に注意
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500~2,000倍(100~300g)	67~50g	菌核病、灰色かび病、うどんこ病、黒星病、つる枯病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	浸透性あり
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000~1,500倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~67g 100g	灰色かび病 つる枯病、菌核病	○	△~○	水和剤	散布	イプロジオン	
		P7	アリエッティ水和剤	収穫前日まで	3回以内	400倍~800倍(100~300g)	250~125g	べと病	○	○	水和剤	散布	ホセチル	浸透移行性あり
		7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	菌核病、灰色かび病、うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
		7	バレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25ml	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐斑病、つる枯病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド	浸透性、耐雨性あり
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,500~2,000倍(100~300g) 1,500倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	67~50ml 67ml 50ml	うどんこ病、べと病 灰色かび病、菌核病 褐斑病、炭疽病	○	△	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	褐斑病の耐性出始め、葉害注意 浸透性、耐雨性あり
		11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~300g)	33ml	うどんこ病、べと病、褐斑病、炭疽病	○	△	フロアブル	散布	クシキムメチル	褐斑病の耐性出始め、葉害注意
	11、27	ホライズンドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,500倍(150~300g)	40ml	べと病	○	○	ドライフロアブル	散布	シモキサール、ファミキサド	耐雨性あり	
	12	セイビアフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67ml	菌核病、灰色かび病、褐斑病(1,000倍)	○	○	フロアブル	散布	フルジオキシニル		
	21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000~2,000倍(150~300g)	100~50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
	9	フルビカフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	灰色かび病、うどんこ病、褐斑病	○	×~△	フロアブル	散布	メバニピリム	同成分剤の使用回数に注意	
	9、U13	ショウチノスケフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病、灰色かび病	○	×	フロアブル	散布	フルチアニル、メバニピリム	同成分剤の使用回数に注意	
	U17	ピンロックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	べと病	○	×	フロアブル	散布	ピカルトラゾクス	浸透性あり	
	7、U6	パンチョFTF顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2000倍	50g	うどんこ病	○	○	水和剤	散布	シフルフェナミド、トリフミゾール		
フクテン剤	—	キューピオZY-02	穂木の子葉完全展開期又は接木苗の第1本葉完全展開期	1回	25倍	—	—	ズッキーニ黄斑モザイクウイルスの感染によるモザイク症及び萎凋症	○	×	水溶剤	有傷接種	ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株	

◆ポリリン水和剤についてR7年度から在庫販売になる為、R7年度に農薬適用表から削除になりますのでR6年度中での使用をお願いします。

# きゅうり登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8B	クロールピクリン	—	床土1回以内	〈床土・堆肥〉3~5ml/穴	—	つる割病、疫病、白絹病、ケラ、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、センチュウ類、一年生雑草、苗立枯病、ホモブシス根腐病(3ml/穴)	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
					圃場1回以内	〈圃場〉2~3ml/穴								

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	播種前又は定植前	1回	15~20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
		1B	ネマキック粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネコブセンチュウ	遅	長	粒剤	全面土壌混和	イミシアホス		
		1B	ネマキック液剤	生育期但し、収穫前日まで	1回	4,000倍(2ℓ/m <sup>2</sup> )	—	ネコブセンチュウ	遅	長	液剤	土壌灌注	イミシアホス		
		4A	ダントツ粒剤	定植時	1回	農業総使用回数、合せて4回以内	2g/株	—	ミナキイロアザミウマ	中	長	粒剤	植穴処理土壌混和	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意
	育苗期後半			1~2g/株			—	アブラムシ類、コナジラミ類							
	定植後、但し収穫前日まで			3回以内			1~2g/株	—	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナキイロアザミウマ						
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナキイロアザミウマ、カメムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意	
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~300ℓ)	33g	アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム		
						2,000倍(100~300ℓ)	50g	ミナキイロアザミウマ							
		4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	アザミウマ類、ウリハムシ、カメムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	ジノテフラン		
						2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33g	アブラムシ類、コナジラミ類							
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	コナジラミ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフル		
						2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類							
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
	2,000倍(100~300ℓ)						50g	コナジラミ類、ウリノメイガ							
	4,000倍(100~300ℓ)						25g	ウリハムシ							
		28	ブリロソソ粒剤オメガ	育苗期後半~定植時	1回	2g/株	—	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリハエ類	中	長	粒剤	株元散布	シアントラニリプロール		
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリハエ類、ウリノメイガ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	銅剤との混用は注意	
		28	プレバソソフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回		100~200倍(25ml/株)	—	ハモグリハエ類	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリプロール	
				200倍(50ml/株)			—								
			収穫前日まで	3回以内		1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	ハモグリハエ類	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリプロール		
						2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ウリノメイガ							
	28	ヨーバルフロアブル	育苗期後半~定植当日	1回		200倍(25ml/株)	—	ハモグリハエ類、アブラムシ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	灌注	テトラニリプロール		
							収穫前日まで	3回以内				2,500~5,000倍(100~300ℓ)			40~20ml
						2,500倍	40ml	コナジラミ類、アザミウマ類、ウリハムシ				散布			
	28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	ウリノメイガ、ハスモンヨウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド			
	3A	トレボン乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	アブラムシ類、コナジラミ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス			
	劇	3A	マブリック水和剤20	収穫前日まで	2回以内	4,000倍	25g	アブラムシ類、オンシツコナジラミ	速	長	水和剤	散布	フルバリネート		

↓「殺虫剤」次ページに続きあり

# きゅうり登録農薬適用表(3)(殺虫・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300ℓ)	20g	ハモグリハエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300ℓ) 2,500倍(100~300ℓ)	40~20ml 40ml	アザミウマ類、ハモグリハエ類、ウリノメイガ コナジラミ類	速	中	フロアブル	散布	スピトラム	
	劇	6	アグリメック	収穫前日まで	2回以内	500~1,000倍(100~300ℓ)	200~100ml	アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	アバメクチン	ダニ殺卵効果× 浸透性、耐雨性あり
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ) 1,000倍(100~300ℓ)	100~67ml 100ml	ハダニ類、コナジラミ類、チャノホコリダニ ハモグリハエ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクチン	
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アザミウマ類、ウリノメイガ、ハスモンヨトウ、ハモグリハエ類、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩	同成分剤の使用回数に注意
	6、15		アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300ℓ)	67ml	ミナミキイロアザミウマ、ウリノメイガ	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクチン安息香酸塩、 ルフェスロン	同成分剤の使用回数に注意 浸透性あり
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ) 2,000倍(100~300ℓ)	50~25ml 50ml	ミナミキイロアザミウマ ウリノメイガ、トマトハモグリハエ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300ℓ)	25g	コナジラミ類、アブラムシ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
		9B	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100~300ℓ)	20g	アブラムシ類、コナジラミ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	ビメトロジン	浸透性あり
		10B	バロックフロアブル	収穫前日まで	1回	2,000倍(100~350ℓ)	50ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	トキサゾール	成虫効果×
		10A	ニツソラン水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33g	ハダニ類	遅	長	水和剤	散布	ヘキシチアソクス	成虫効果×
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ウリノメイガ、ミナミキイロアザミウマ、 ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類、ウリハムシ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		20B	カネマイトフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000~1,500倍(150~300ℓ)	100~67ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	アセキノシル	
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ビフェゼート	殺卵効果△
	劇	21A	サンマイトフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	100~67ml	うどんこ病、アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	散布	ピリダベン	成虫効果△
	劇	21A	ピラニカEW	収穫前日まで	1回	2,000~3,000倍(150~300ℓ) 2,000倍(150~300ℓ)	50~33ml 50ml	ハダニ類 アブラムシ類	速	長	乳剤	散布	テブフェンピラド	
	劇	21A、 FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300ℓ) 1,000倍(100~300ℓ)	100~50ml 100ml	ウリノメイガ、アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類 うどんこ病、べと病、褐斑病	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド	
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類	遅	長	フロアブル	散布	スピロテトラマト	
		25A	スターマイトフロアブル	収穫前日まで	1回	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハダニ類	速	長	フロアブル	散布	シエピラフェン	
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ) 2,000倍(100~300ℓ)	50~25g 50g	アブラムシ類 コナジラミ類	遅	長	ドライ フロアブル	散布	フロニカミド	浸透性、耐雨性あり
		30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ウリノメイガ、コナジラミ 類、ハモグリハエ類、ハダニ類	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	浸透性、耐雨性あり
		UN	ブレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ハモグリハエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	耐雨性あり

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
薬除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)	農薬総使用回数、 合わせて3回 以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
		ザクサ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	定植前(雑草発生前)	200~400ml(100~150ℓ)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	

スイートコーン登録農薬適用表 (殺虫・殺菌・除草)

注:1 雑穀類です。野菜類で登録のある農薬は使用できません。

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		4A	クルーザーFS30	は種前	1回	乾燥種子1kg当り原液6ml	—	ハリガネムシ類、タネバエ	—	—	液剤	塗沫処理	チアマトキサム	同成分剤の使用回数に注意
		4A	アクアラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	3,000倍(100~300g)	3g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム	同成分剤の使用回数に注意
		4A	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類、アカスジカスミカメ、ツマジロクサヨトウ	中	長	水溶剤	散布	クロチアジジン	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アゼタミプリド	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフルロ	
		3A	ガードバイトA	生育初期	4回以内	3kg	—	ネキリムシ類	速	長	バイト	株元散布	ベルメトリン	
		1B	ダイアジノン粒剤5	出芽時 収穫14日前まで	1回 2回以内	農薬総使用回数、含せて2回以内 6kg 4~6kg	— —	ネキリムシ類 アワノメイガ	速	短	粒剤	土壌表面散布 散布	ダイアジノン	
		1A	デナボン粒剤5	穂穂抽出期~穂穂抽出期、 ただし収穫21日前まで 収穫21日前まで	2回以内	4~6kg 3~6kg	— —	アワノメイガ ダイメイチュウ	中	中	粒剤	散布	NAC	
	劇	1B	エルサン乳剤	収穫14日前まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アワノメイガ	速	短	乳剤	散布	PAP	
		1B	スミチオン乳剤	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アワノメイガ、カメムシ類、ツマジロクサヨトウ	速	短	乳剤	散布	MEP	
	劇	14	ハダシSG水溶剤	収穫21日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g) 1,000~1,500倍(100~300g)	100g 100g~75g	アワノメイガ ツマジロクサヨトウ	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ	
		15	カスケード乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 4,000倍(100~300g)	50~25ml 25ml	アワノメイガ、ツマジロクサヨトウ オオタバコガ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		3A	トレボン乳剤	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アワノメイガ、アワヨトウ、ツマジロクサヨトウ	速	中	乳剤	散布	エトフェンプロックス	
	劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~50ml 100ml	アワノメイガ、アブラムシ類 アワヨトウ	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン	
		6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	ヨトウムシ、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ	速	短	乳剤	散布	エマメチル安息香酸塩	
		29	ウララDF	収穫3日前まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
		9B	コルシ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、ハダニ類、ツマジロクサヨトウ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		18	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アワノメイガ	遅	長	フロアブル	散布	クロマフェンジド	
		22B	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~50ml 100ml	アワノメイガ ツマジロクサヨトウ	遅	長	フロアブル	散布	メタフルミゾン	
		28	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アワノメイガ、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニプロール	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アワノメイガ、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25ml 50ml	アワノメイガ、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ アブラムシ類	速	長	液体	散布	シアントラニプロール	
		UN	プレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	
	11A	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し、収穫前日まで	—	1,000倍(100~300g)	100g	オオタバコガ	中	短	顆粒水和剤	散布	BT		

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
その他		M3	キヒゲンR-2フロアブル	播種前	1回	乾燥種子1kg当たり原液20ml	—	カラス、ハト、キジ、ムクドリ、スズメ、キジバト	—	—	フロアブル	塗沫処理	チウラム	
殺菌剤		3	トリフミン水和剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	オオタバコガ	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	
		U18	ハリダシン液剤5	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	紋枯病	○	○	液剤	散布	バリダマイシン	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理除草剤		フィールドスターP乳剤	播種後発芽前(雑草発生前) どうもろこし出芽直前~2葉期まで	1回	75~120ml(70~150g) 75~120ml(100g)	一年生雑草(アカサカ科、アブラナ科、タデ科雑草を除く) 一年生イネ科雑草	乳剤	全面土壌散布	ジメテナミドP	イネ科雑草2葉期まで
		ロロックス	播種直後	1回	農薬総使用回数、含せて1回以内 100~200g(70~150g)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	リニウロン	マルチ栽培使用薬害注意
		クリアターナー乳剤	播種直後(雑草発生前)	1回	農薬総使用回数、含せて1回以内 500~800ml(70~100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ベンチホカーブ、リコロン ベンチアクリン	マルチ栽培使用薬害注意
		ゴーゴーサン乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	1回	農薬総使用回数、含せて1回以内 200~400ml(70~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ペンディメタリン	マルチ栽培使用薬害注意
雑草除草剤(選択性)		ラッソー乳剤	播種後出芽前	1回	300~600ml(100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	マルチ栽培使用薬害注意
		バサグラン液剤	どうもろこしの生育期 雑草3~6葉期(収穫50日前まで) マルチ前・播種前(雑草生育前)	1回	100~150ml(70~100g)	一年生雑草(イネ科を除く)	液剤	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	ペンタゾンナトリウム塩	
		ゲザンゴールド	播種後発芽前(雑草発生前) 生育期(どうもろこし2~4葉期)	1回	140~260ml(70~150g) 140~260ml(70~100g)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	アトラジン、S-メトラロール	マルチ栽培使用薬害注意
		ブルーシアフロアブル	どうもろこしの生育期 雑草3~5葉期(収穫45日前まで) どうもろこしの生育期 雑草6~7葉期(収穫45日前まで)	1回	40~50ml(100g) 50~75ml(100~150g)	一年生雑草	フロアブル	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トルビラーレート	
雑草除草剤(非選択性)	毒	ブリグロックスL	散間処理・雑草生育期(草丈30cm以下)、 但し、収穫3日前まで	5回以内	600~1,000ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、バラコート	

# ズッキーニ登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		1	ネマトリンエース粒剤	定植前	1回	20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート	被覆やガス抜き作業なし	
		1、10	ゲッター水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍(100~300g)	67g	灰色かび病	○	○	水和剤	散布	ジエトフェンカルブ、チオファネートメチル	残効性及び浸透移行性あり	
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	3回以内										農薬総使用回数、合わせて3回以内
		M5	ダコニール1000	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	TPN	耐性菌が発生しにくい	
		3、U6	パンチョTF顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~300g)	25g	うどんこ病	○	○	顆粒水和剤	散布	シルフェトド、トリアルギゾール	うどんこ病効果高い 葉内移行性あり	
		7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチゼラト	既存薬剤耐性菌に有効	
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	展着剤不要	
		M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~300g)	200ml	うどんこ病	○	×	乳剤	散布	DBEDC	作物果実汚れが少ない	
		M1	ヨネボン(乳剤)	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~300g)	200ml	べと病	○	×	乳剤	散布	ニルフェノールスルホン酸銅	剤型注意、水和剤は登録外	
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	べと病	○	×	フロアブル	散布	シアゾファミド	耐水性に優れる	
		31	スターナ水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	軟腐細菌病	○	×	水和剤	散布	オキシロニック酸	細菌のDNA複製を妨げる作用のため、予防的に散布する	
	—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	軟腐細菌病	○	×	水和剤	散布	シュードモナス ロデシア	高温時使用注意		

◆銅剤の使用について・・・散布後、果面に薬が付着しやすいので収穫期は注意して散布しましょう。

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期但し 収穫開始7日前まで	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメリン	
		4A	ベストガード粒剤	定植時	1回	1~2g/株	—	アザミウマ類	—	—	粒剤	植穴処理 土壌混和	ニテンピラム	浸透移行性あり
		4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	ジノテフラン	浸透移行性あり
	劇	4A	バリアード顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	チアクロプリド	浸透移行性あり
		3A	アディオーン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	アブラムシ類・フキノメイガ	速	長	乳剤	散布	ベルメリン	ノックダウン効果を示す
		6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	害虫に対して主に食毒として作用
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000~10,000倍(100~300g)	20~10g	アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	有機JAS使用可能農薬 散布翌日には効果が出る
		9B	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	ビメロジン	浸透移行性あり
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	コナジラミ類、アブラムシ類	遅	長	フロアブル	散布	スピロトラマト	浸透性、浸透移行性あり
		28	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハモグリバエ類	速	長	フロアブル	散布	クロラントリニプロール	耐水性に優れる
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	浸透移行性あり
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	浸透移行性は弱いので、 葉の表裏にムラなく散布する

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期は種・定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ガルホシネート	散布後2~5日後には兆候が現れ、通常7~14日で効果完成

# すいか登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2024年 9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	2回以内 (床土1回以内、圃場1回以内)	〈床土・堆肥〉3~5ml/穴 〈圃場〉 2~3ml/1穴	—	つる割病、苗木枯病、疫病、白絹病、ケラ、 センチュウ類、ネキリムシ類、ハリガネムシ 類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種又は定植21日前まで	1回	200~400g/m <sup>2</sup> 20~30kg	—	苗木枯病(リゾクトニア菌) つる割病、白絹病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		32	タチガレン液剤	播種直後	1回以内	500~1,000倍 (3g/m <sup>2</sup> (苗床))	—	苗木枯病	○	△	液剤	苗床灌注	ヒドロキシイソキサゾール	
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50g	炭疽病、菌核病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	
		1	ベンレート水和剤	収穫前日まで	5回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33g	つる枯病、菌核病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	ペノミル	
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	菌核病、つる枯病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	3,000~5,000倍 (100~300g)	33~20g	うどんこ病、つる枯病(3000倍)	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
		3、U6	パンチョTF顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内		2,000倍 (100~300g)	50g	うどんこ病	○	○	顆粒 水和剤	散布	トリフルミゾール、 シフルフェナミド
		9、U13	ショウチノスケフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	フルチアニル、メバニピリム	
		7	パレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25g	菌核病、つる枯病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド	
		7、11	シグナムWDG	収穫前日まで	3回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50g	つる枯病、炭疽病、うどんこ病	○	○	顆粒 水和剤	散布	ピラクロストロピン、 ボスカリド	
	1,500倍 (100~300g)					67g	菌核病、褐色腐敗病							
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	炭疽病、つる枯病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン	
		11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	炭疽病、つる枯病、うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
		M7、11	ファンベル顆粒水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	つる枯病、炭疽病、菌核病、うどんこ病	○	○	顆粒 水和剤	散布	イミノクタジナルベジル酸塩 ピリベンカルブ	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	褐斑細菌病、果実汚斑細菌病、うどんこ病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、 塩基性塩化銅	
		M1	キノドーフロアブル	収穫前日まで	5回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	炭疽病、果実汚斑細菌病	○	×	フロアブル	散布	有機銅	
	M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内	500倍 (100~300g)	200ml	うどんこ病、アブラムシ類、ハダニ類	○	×	乳剤	散布	DBEDC		
	M1	Zボルドー	—	—	500~800倍 (100~300g)	200~125g	疫病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	定植・マルチ前(雑草発生前)	200~400ml (100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面 土壌散布	ブタミホス	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) (但し収穫14日前まで)	150~200ml (100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草 茎葉散布	セトキシジム	
茎葉除草剤 (非選択性)		ザクサ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150g)	農薬総使用回数、 合わせて2回 以内	一年生雑草	液剤	雑草 茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150g)		一年生雑草	液剤	雑草 茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意

# すいか登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時薬量	適用病虫害	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート	
	劇	1B	エルサン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g) 1,000~2,000倍(100~300g)	100ml 100~50ml	アザミウマ類 アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	PAP	
		23	モベントフロアブル	育苗期後半	1回	500倍(25~50ml/株) 500倍(50ml/株)	—	コナジラミ類、アブラムシ類 アザミウマ類、ハダニ類	遅	長	フロアブル	灌注	スピロテトラマト	養蜂注意
				収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類、アブラムシ類				散布		
		4A	スタークル粒剤	育苗期 定植時 生育期(収穫21日前まで)	1回	2g/株	—	ワタアブラムシ	—	—	粒剤	株元散布 植穴土壌混和 株元散布	ジノテフラン	
		4A	ダントツ粒剤	定植時	1回	1~2g/株	—	アブラムシ類、ミナキイロアザミウマ	中	長	粒剤	植穴処理土壌混和	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	アブラムシ類、ウリハムシ ミナキイロアザミウマ	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意
		4A	ベストガード粒剤	育苗期 定植時	1回	1g/株 1~2g/株	—	コナジラミ類、アブラムシ類 アブラムシ類、ミナキイロアザミウマ、コナジラミ類	—	—	粒剤	株元処理 植穴処理土壌混和	ニテンピラム	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g) 4,000倍	50~25g 50g 25g	アブラムシ類、アザミウマ類 ウリノメイガ、コナジラミ類 ウリハムシ	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g) 3,000倍(100~300g)	50g 33g	ミナキイロアザミウマ アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム	
	劇	4A	バリアード顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	チアクロプリド	
		6	コロマイト乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクチン	
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 50ml	アザミウマ類 コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩	
		15	カスケード乳剤	収穫7日前まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 4,000倍(100~300g)	50~25ml 25ml	ミナキイロアザミウマ、オオタバコガ、マハモグリハエ シロイチモシヨトウ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		3A	トレボン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハスモンヨトウ、ヨウムシ、アブラムシ類、コナジラミ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス	
		3A	アーデント水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,000倍(150~300g)	100g	アブラムシ類、ハダニ類	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン	
		9B	チェス顆粒水和剤	収穫3日前まで	4回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アブラムシ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ピメトロジン	
	劇	21A	サンマイトフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67ml	ハダニ類、コナジラミ類、アブラムシ類、うどんこ病	速	長	フロアブル	散布	ピリダベン	
	劇	21A	ピラニカEW	収穫3日前まで	1回	2,000~3,000倍(150~300g)	50~33ml	ハダニ類	速	長	乳剤	散布	テブフェンピラド	
	劇	21A FRAC39	ハチハチ乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~50ml 100ml	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類、うどんこ病	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		10B	バロックフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~350g)	50ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	エトキサゾール	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 50ml	コナジラミ類 アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフルール	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	25ml 50ml	ミナキイロアザミウマ ハダニ類、オオタバコガ、ウリノメイガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ビフェナゼート	
		21A	ダニトロンフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000~2,000倍(150~300g)	100~50ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	フェンピロキシメート	
		25A	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~350g)	100ml	ハダニ類	速	中	フロアブル	散布	シフルメトフェン	
		28	プレバソソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、ハモグリハエ類	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニプロール	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	オオタバコガ、ウリノメイガ、ハスモンヨトウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	
	29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		



# ピーマン・パプリカ登録農薬適用表(1) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	薬剤	IRACコード	農薬名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調査時 重量	適用病害虫・雑草	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分	備考
殺虫剤	28	ブリロソシ粒剤オメガ	鉢上げ時	1回	2g/株	—	アブラムシ類	速	長	粒剤	育苗培土混和	シアントラニプロロール	石灰など、アルカリ性肥料との同時施用はさける	
			育苗期後半～定植時		2g/株	—	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類							
	4A	アドマイヤー1粒剤	育苗期後半	1回	1g/株	—	アブラムシ類	—	—	粒剤	株元散布	イメダクロプリド	浸透移行性を有する	
			定植時		1～2g/株	—	アブラムシ類、アザミウマ類							
	4A	ベストガード粒剤	育苗期	1回	1g/株	—	アブラムシ類、コナジラミ類	—	—	粒剤	株元処理	ニテンピラム	浸透移行性を有する	
			定植時		1～2g/株	—	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ、コナジラミ類							
	4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50g	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ、コナジラミ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	浸透移行性を有する	
	4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33g	コナジラミ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	ジノテフラン	浸透移行性を有する	
					2,000倍(100～300g)	50g	アザミウマ類、カメムシ類							
					3,000倍(100～300g)	33g	アブラムシ類							
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50g	ミナミキイロアザミウマ	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム	浸透移行性を有する	
					3,000倍(100～300g)	33g	コナジラミ類、アブラムシ類、マハモグリハエ							
	4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	アブラムシ類、コナジラミ類、カメムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	浸透移行性を有する	
					2,000倍(100～300g)	50g	ミナミキイロアザミウマ							
	4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	コナジラミ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフル	浸透移行性、 浸透性を有する	
					2,000倍(100～300g)	50ml	アブラムシ類							
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100～300g)	25g	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	浸透移行性を有する
	4A、28	アベイル粒剤	育苗後半～定植当日	1回	2g/株	—	アザミウマ類、アブラムシ類、アザミウマ類、コガネムシ類幼虫	速	長	粒剤	株元散布	アセタミプリド、シアントラニプロロール	薬剤抵抗性害虫にも有効	
	28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25ml	オオタバコガ	速	長	液剤	散布	シアントラニプロロール	卵、幼虫、成虫に効果あり 葉面浸透性と局所的な移行性を有する 網剤との混用注意	
			育苗期後半～定植当日	1回	100倍(25ml/株)	—	コナジラミ類、ハスモンヨトウ							
	28	ブレバソフロアブル5	収穫前日まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	オオタバコガ、ハスモンヨトウ	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニプロロール	根からの吸収移行性に優れるため、強い耐雨性を示す	
			収穫前日まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	オオタバコガ、ハスモンヨトウ							
	28	フェニックス顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	オオタバコガ	速	長	顆粒水溶剤	散布	フルベンジアミド	摂食行動を速やかに停止させる	
	23	モベントフロアブル	育苗期後半	1回	500倍(50ml/株)	—	アザミウマ類、チャノホコリダニ、ハダニ類	遅	長	フロアブル	灌注	スピロテトラマト	浸透移行性、浸透性を有する 養蜂注意 遅効性なので効果の完成まで7日間程度有する	
			収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、チャノホコリダニ、ハダニ類							
	3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン	ネキリムシ類を誘引し、摂食させて防除する	
	3A	アーデント水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(150～300g)	100g	アブラムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン	接触作用により、速効的に強い殺虫効果を示す	
	5	スピノエース顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍(100～300g)	40～20g	オオタバコガ	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	散布した翌日には効果が確認できる	
					5,000倍(100～300g)	20g	アザミウマ類							
	劇	6	アグリメック	収穫前日まで	3回以内	500～1,000倍(100～300g)	200～100ml	アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	アバメクテン	食毒、経皮毒として作用
6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	レピメクテン	貴重なチャノホコリダニ適用農薬		
				2,000倍(100～300g)	50ml	オオタバコガ・チャノホコリダニ・ハスモンヨトウ								
6、15	アフームエクスラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100～300g)	67g	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、ルフェヌロン	浸透性◎葉裏に潜む害虫や卵にも効果がある		
15	カスケード乳剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	オオタバコガ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	昆虫の骨格を形成するキチン質の生合成を阻害する		
				4,000倍(100～300g)	25ml	ミナミキイロアザミウマ								
9B	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100～300g)	20g	アブラムシ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ピメトロジン	浸透移行性を有する		
9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100～300g)	25g	コナジラミ類、アブラムシ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	高い摂食阻害活性を示す 浸透移行性は弱いので、 かけムラに注意		
10A	ニツラン水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33g	ハダニ類	遅	長	水和剤	散布	ヘキシチアゾクス	ポルドー液などのアルカリ性剤との混用可能 ポルドー液との混用は避ける		
20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100～300g)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ピフェナゼート	浸透移行性はないので注意		
29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水溶剤	散布	フロニカミド	浸透移行性を有する		
30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	コナジラミ類、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガ、チャノホコリダニ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	約14日間害虫の加害を防ぐ 葉内浸透性がある		
UN	ブレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	アザミウマ類、タバコガ類	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	中～老齢期幼虫に対しても効果◎		

# ピーマン・パプリカ登録農薬適用表(2) (殺菌・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	農薬名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時重量	適用病害虫・雑草	効果発現性	強効性	剤型	使用方法	成分	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8B	クロールピクリン	-	床土1回以内	〈床土・堆肥〉3~5ml/穴	-	セネリウム類、ネキリムシ類、ハカネムシ類、クワ、青枯病、疫病、萎凋病、一年生雑草	-	-	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	耕起を十分行い、整地してから使用する 耕起直後ではガスが抜けやすいので、土壌が落ち着いてから処理する
					圃場1回以内	〈圃場〉2~3ml/穴	-	-	-	-	-	-	-	-
	劇	IRAC 8F	バスアミド微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	30kg	-	苗立枯病(リゾクトニア菌)、半身萎凋病、萎凋病、青枯病、白絹病、一年生雑草	-	-	粒剤	土壌混和	ダソメット	刺激臭が少ない

用途	毒劇	FRACコード	農薬名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時重量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分	備考
殺菌剤		P2	オリゼメート粒剤	定植時	1回	5~10g/株	-	斑点病、うどんこ病	○	×	粒剤	楕穴土壌混和	プロベナゾール	楕穴の土壌と十分に混和すること
		M5	ダコニール1000	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	斑点病、うどんこ病、黒枯病、炭疽病	○	×	フロアブル	散布	TPN	耐性菌が発現しにくい 浸透移行性はないので ムラなく散布すること
		7	バレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	うどんこ病、黒枯病、灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド	治療効果はあるが発生初期に散布すること
		1	ベンレート水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33g	うどんこ病、斑点病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	ベノミル	耐性菌が発生する恐れがあるため、連用は避ける
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000倍(100~300g) 1,000~1,500倍(100~300g)	100g 100~67g	菌核病 灰色かび病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	浸透移行性はあまりないので 茎葉にムラなく散布すること
		2	スミレックス水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~50g 100g	菌核病・灰色かび病 黒枯病	○	○	水和剤	散布	プロシミドン	浸透移行性がある 発病初期の治療効果がある
		3、U6	バンチョTF顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	25g	うどんこ病	○	○	顆粒水和剤	散布	シフルフェナミド、トリフルミゾール	うどんこ病に優れた効果を 示す 葉内移行性がある
		7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g) 2,000倍(12/株)	50~25ml 50ml 50ml	うどんこ病 灰色かび病、黒枯病、斑点病 白絹病	○	×	フロアブル	散布 株元灌注	ベンチオオピラド	既存薬剤耐性菌に有効
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67ml	灰色かび病・黒枯病	○	×	ドライフロアブル	散布	ボスカリド	植物体葉表から葉裏への 浸透性を有し、葉先および 葉縁への移行性がある
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン	浸透移行性があるため雨に強い
		11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~300g)	33ml	うどんこ病・黒枯病	○	△	フロアブル	散布	クレソキシメチル	予防効果に優れる
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(150~300g)	50ml	疫病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	長期残効性があるため、7~14日間隔散布が可能
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍(100~300g)	100g	斑点細菌病・うどんこ病・斑点病	○	○	水和剤	散布	カスカマイン、塩基性塩化銅	アルカリ性薬剤とは混用しないこと 浸透効果と保護効果の相性◎
		M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~300g)	200ml	うどんこ病・アブラムシ類	○	×	乳剤	散布	DBEDC	散布した薬液が早く乾燥するよう に通気性をよくすること
		M1	コサイド3000	-	-	2,000倍(100~300g)	50g	軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、褐斑細菌病	-	-	水和剤	散布	水酸化第二銅	水に溶けやすく調整しやすい 水酢液等は混ぜないこと
		M1、NC	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	-	750~1,000倍(150~500g) 1,000倍(150~500g)	133~100g 100g	うどんこ病 軟腐病、白さび病	-	-	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅	作物の栄養にもなる
		NC	カリグリーン	収穫前日まで	-	800~1,000倍(100~300g) 800倍(100~300g)	125~100g 125g	うどんこ病 灰色かび病、さび病	-	-	水溶剤	散布	炭酸水素カリウム	水溶性加里としての肥料効果もある 5~7日間隔で2~3回散布すること

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	定植前(雑草発生前)	10a当り200~400ml(100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	βタムホス	土壌吸着性が強く、雑草の発生を長期間抑制する(約30日)
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	10a当り300~500ml(100~150g)	農薬総使用回数、合せて3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	散布後2~5日後には芽候が現れ通常7~14日で効果完成する グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	10a当り300~500ml(100~150g)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意

# さやいんげん登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分	備考	
殺菌剤		1	ベンレート水和剤	発芽14日後まで	2回以内	1,000倍(3ℓ/m <sup>2</sup> )	—	立枯病	○	○	水和剤	灌注	ベノミル		
				収穫開始14日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	菌核病、角斑病				散布			
		7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	灰色かび病、菌核病、さび病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオキサド		豆類登録(未成熟)
		7	カナメフロアブル	収穫前日まで	4回以内	4,000倍(100~300ℓ)	25ml	灰色かび病、菌核病	○	○	フロアブル	散布	インビルフルキサム		豆類登録(未成熟)
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	灰色かび病、菌核病、角斑病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン		高温時葉害注意
	12	セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	100~67ml	灰色かび病、菌核病	○	○	フロアブル	散布	フルジオキシニル	予防効果に優れる		

◆銅剤の使用について・・・散布後、果面に薬が付着しやすいので収穫期は注意して散布しましょう。

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分含量	備考	
殺虫剤		1B	マラソン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33ml	アザミウマ類・コガネムシ類・アブラムシ類・ハダニ類	速	短	乳剤	散布	マラソン	豆類登録(未成熟)	
						1,000倍(100~300ℓ)	100ml	カメムシ類・マメシクイガ・ハモグリバエ類							
						1,000~2,000倍(100~300ℓ)	50ml	インゲンテントウ							
		劇	1B	エルサン乳剤	収穫7日前まで	1回	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	PAP	
						1,000倍(100~300ℓ)	100ml	フキノメイガ・インゲンテントウ							
			4A	アドマイヤー1粒剤	播種時又は定植時	1回	1~2g/株(6kgまで)	—	アブラムシ類	-	-	粒剤	植穴土壌混和	イミダクロプリド	
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタムプリド	
							4,000倍(100~300ℓ)	25g	コナジラミ類、アザミウマ類、カメムシ類						
			4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~300ℓ)	33g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム	
			4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	アブラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、カメムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	ジノフェン	
			3A	トレボン乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ワタアブラムシ・マメノメイガ・ウラナミシジミ	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス	速効性に優れる
			5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300ℓ)	40~20ml	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、アズキノメイガ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
			6	アフーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハモグリバエ類	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	
			6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハスモンヨトウ	速	短	乳剤	散布	レビメクテン	豆類登録(未成熟)
			10A	ニッソラン水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	ハダニ類	遅	長	水和剤	散布	ヘキシチアゾクス	幼虫への効果○ 成虫への効果×
		劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハダニ類、アズキノメイガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	幼虫・成虫への効果○ 殺卵効果○
		劇	14	バダシSG水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,500倍(100~300ℓ)	67g	マメハモグリバエ	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ塩酸塩	
			21A	ダニロンフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000~2,000倍(150~300ℓ)	100~50ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	フェンピロキシメート	幼虫・成虫への効果○ 殺卵効果△
			25A	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~350ℓ)	100ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	シフルメトフェン	幼虫・成虫への効果○ 殺卵効果○
			28	ブレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリプロール	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水溶剤	散布	フロニカミド		
		30	グレシシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2000~3000倍(100~300ℓ)	50~33ml	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド		
		UN	プレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	ハスモンヨトウ、シロイテモジヨトウ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
						1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ハモグリバエ類、オオタバコガ、ヨトウムシ							

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分含量	備考
土壌処理 除草剤		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫14日前まで	150~200ml(100~150ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	イネ科雑草のみ 豆類登録(未成熟)
茎葉 除草剤		バスタ液剤	播種前・定植前(雑草生育期) 収穫前日まで (畦間処理)(雑草生育期)	300~500ml(100~150ℓ)	農業総使用回数、 合せて3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	豆類登録(未成熟) グルホシネートおよび グルホシネートPを含む農薬 の使用回数に注意
		ザクサ液剤	播種前・定植前(雑草生育期) 収穫前日まで (畦間処理)(雑草生育期)	300~500ml(100~150ℓ)	農業総使用回数、 合せて3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	豆類登録(未成熟) グルホシネートおよび グルホシネートPを含む農薬 の使用回数に注意

# トマト(青果・中玉)登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		M5	ダコニール1000	播種時又は活着後(定植14日後まで)	2回以内	6回以内(但し、土壤注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計4回以内)	1,000倍(希釈液3ℓ/㎡)	—	苗立枯病(リゾクトニア菌)	○	×	フロアブル	土壌灌注	同成分剤の使用回数に注意	
				収穫前日まで	4回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、すすかび病・灰色かび病、うどんこ病、褐色輪紋病、斑点病				散布	TPN		
				収穫前日まで	4回以内	33倍(10ℓ)	—	葉かび病、すすかび病、うどんこ病、褐色輪紋病				常温煙霧			
		M5	ダコニールジェット	収穫前日まで	4回以内	20g/くん煙室容積100㎡	—	葉かび病	○	×	くん煙剤	くん煙	TPN	同成分剤の使用回数に注意	
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500倍~2,000倍(100~300ℓ)	67~50g	菌核病、灰色かび病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル		
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	3回以内	農業総使用回数、合せて3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	灰色かび病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
	200g(5ℓ)						—	灰色かび病							
	100g/くん煙室容積300~400㎡						—	菌核病、灰色かび病							
	劇	2	ロブラールくん煙剤	収穫前日まで	3回以内	100g/くん煙室容積300~400㎡	—	菌核病、灰色かび病	○	△	くん煙剤	くん煙	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意	
		9	フルピカフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33ml	灰色かび病	○	△	フロアブル	散布	メバニピリム		
		M7、17	ダイマジン	収穫前日まで	3回以内	1,500倍(150~300ℓ)	67g	葉かび病、灰色かび病	○	△	水和剤	散布	イミクタジナルベシル酸塩、フェンヘキサミド		
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	農業総使用回数、合せて5回以内	3,000倍~5,000倍(100~300ℓ)	33~20g	葉かび病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
	3,000倍(100~300ℓ)						33g	すすかび病、うどんこ病							
		3	トリフミンジェット	収穫前日まで	5回以内	50g/くん煙室容積400㎡	—	葉かび病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意	
		7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内		2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチピラド	
							2,000倍(100~300ℓ)	50ml	灰色かび病、菌核病、葉かび病、すすかび病						
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	農業総使用回数、合せて3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	100~67ml	灰色かび病、葉かび病、菌核病	○	○	ドライフロアブル	散布	ボスカリド	同成分剤の使用回数に注意
		7、11	シグナムWDG	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	葉かび病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病、菌核病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラクロストロピン、ボスカリド	同成分剤の使用回数に注意	
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	葉かび病、灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン		
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33g	灰色かび病、菌核病、葉かび病、すすかび病、斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ		
		19	ポリオキシナル水溶剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100~300ℓ)	20g	葉かび病、灰色かび病、アザミウマ類	○	○	水溶剤	散布	ポリオキシナル		
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000~2,000倍(150~300ℓ)	100~50ml	疫病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
		40	レーバスフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,500~2,000倍(100~300ℓ)	67~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	マンジプロハミド		
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	かいよう病、斑点細菌病、葉かび病、疫病、輪紋病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅		
		M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内		500倍(100~300ℓ)	200ml	葉かび病、灰色かび病、ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類	○	×	乳剤	散布	DBEDC	
							500~700倍(100~300ℓ)	200~142ml	うどんこ病						
		M1	クプロシールド	—	—	—	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	
							1,000倍(100~300ℓ)	100ml	葉かび病、かいよう病、すすかび病						
		M1	コサイド3000	—	—	—	1,000倍(100~300ℓ)	100g	疫病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅	
		M1	ドイツボルドーA	—	—	—	500倍(100~300ℓ)	200g	疫病、斑点病、葉かび病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅	
	M1	Zボルドー	—	—	—	400~600倍(100~300ℓ)	250~167g	疫病、輪紋病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
						500倍(100~300ℓ)	200g	すすかび病、軟腐病(野菜類)							

◆銅剤の使用について…散布後、葉面に薬が付着しやすいので収穫期は注意して散布しましょう。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤(選択性)		ナブ乳剤	収穫14日前までの雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)	150~200ml(100~150ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
雑草除草剤(非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)	農業総使用回数、合せて3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意

# トマト(青果・中玉)登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調査時 調査量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期	3回以内	3kg	—	ネキリシメ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン	欄移動	
		1B	ネマトリエース粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
		4A	ベストガード粒剤	播種時又は鉢上げ時 育苗期 育苗期後半 定植時	1回	5g/格±1g 1~2g/株 2g成育苗箱11箱またはペーパー11冊(30×60cm、使用土壌約1.5~4L)当り50g 1~2g/株 2g/株	— — — —	アブラムシ類、コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類 アブラムシ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類	— — — —	— — — —	— — — —	粒剤	育苗培土混和 株元処理 散布 補欠処理土壌混和	ニテンピラム	同成分剤の使用回数に注意
		4A	アドマイヤー1粒剤	定植時 育苗期後半	1回	1~2g/株 0.5~1g/株	— —	アブラムシ類、コナジラミ類 コナジラミ類	— —	— —	— —	粒剤	補欠土壌混和 株元散布	イミダクロプリド	
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、クロバネキノコバエ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム		
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	コナジラミ類、アブラムシ類 ハモグリバエ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアジジン		
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 50ml	コナジラミ類、トマトサビダニ アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフル		
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	農薬総使用回数、合わせて3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	同成分剤の使用回数に注意
	劇	4A	モスピランジェット	収穫前日まで	3回以内	3回以内	50g/くん煙室容積400ml	—	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	中	長	くん煙剤	くん煙	アセタミプリド	同成分剤の使用回数に注意
		2B	ブリロックス粒剤オメガ	鉢上げ時 育苗期後半~定植時	1回	2g/株	— —	コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、トマトキバガ	— —	— —	— —	粒剤	育苗培土混和 株元散布	シアントラニプロール	同成分剤の使用回数に注意
		2B	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25ml 50ml	オオタバコガ アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、トマトキバガ	速	長	液剤	散布	シアントラニプロール	同成分剤の使用回数に注意 銹剤との混用注意	
		2B	ブレバソフフロアブル5	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	100倍(25ml/株) 200倍(50ml/株) 2,000倍(100~300g) 1,000~2,000倍(100~300g)	— — 50ml 100~50ml	ハモグリバエ類、コナジラミ類 オオタバコガ ハモグリバエ類	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニプロール		
		2B	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	オオタバコガ、ハスモンヨトウ トマトキバガ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド		
		3A	アーデント水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(150~300g)	100g	ミカンキイロアザミウマ、オオタバコガ	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン		
	劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オンシツコナジラミ、アブラムシ類	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン		
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g) 2500倍(100~300g)	40~20ml 40ml	オオタバコガ、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、トマトキバガ コナジラミ類	速	短	フロアブル	散布	スピキトラム		
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	オオタバコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67ml	コナジラミ類、トマトサビダニ、ハモグリバエ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン		
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 100ml 50ml	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ トマトキバガ オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、トマトサビダニ	速	短	乳剤	散布	レビメクテン		
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	5回以内	農薬総使用回数、合わせて5回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、トマトサビダニ、ハモグリバエ類、コナジラミ類、トマトキバガ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	同成分剤の使用回数に注意
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67g	オオタバコガ、ハモグリバエ類	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、ルフェスロン	同成分剤の使用回数に注意	
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g) 4,000倍(100~300g)	50~25ml 50ml 25ml	オオタバコガ、マメハモグリバエ ミカンキイロアザミウマ、トマトハモグリバエ トマトサビダニ、ハスモンヨトウ、コナジラミ類	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン		
		9B	デース顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アブラムシ類、コナジラミ類	—	—	—	顆粒水和剤	散布	ビメトロジン	
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ミカンキイロアザミウマ、オオタバコガ、ナミハダニ、トマトサビダニ、トマトキバガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル		
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類、トマトサビダニ	中	中	フロアブル	散布	ピフェナゼート		
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、トマトサビダニ	遅	長	フロアブル	散布	スピロテトラマト		
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	アブラムシ類 コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		
		30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、コナジラミ類、トマトサビダニ、オオタバコガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、トマトキバガ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド		
		UN	フレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	オオタバコガ、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、シロイチモンジヨトウ、トマトキバガ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
	—	サンクリスタル乳剤	収穫前日まで	—	300~600倍(150~500g) 300倍(150~500g)	333~167ml 333ml	ハダニ類、トマトサビダニ、うどんこ病 アブラムシ類、コナジラミ類	中	短	乳剤	散布	膾肪酸グリセリド			

# ミニトマト登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種又は定植21日前まで	1回	30kg～60kg	—	青枯病	—	—	微粒剤	全面土壌混和	ダゾメット	
						30kg	—	紅色根腐病						
						20～30kg	—	ネコフセンチュウ、萎凋病、褐色根腐病、根腐萎凋病、半身萎凋病、白根病、一年生雑草						
						200～300g/m <sup>2</sup>	—	苗立枯病(リゾニア菌)						

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500～2,000倍(100～300g)	67～50g	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル		
		2	ロブラル水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000～1,500倍(100～300g)	100～67g	灰色かび病	○	○～△	水和剤	散布	イプロジオン		
	1,000倍(100～300g)					100g	斑点病、輪紋病、								
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	農業使用回数、合わせて3回以内	1,000～1,500倍(100～300g)	100～67ml	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	○	ドライフロアブル	散布	ボスカリド	同成分の使用回数に注意
	7、11	シグナムWDG	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)		50g	うどんこ病、葉かび病、灰色かび病、すすかび病、菌核病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラクロストロピン、ボスカリド	同成分の使用回数に注意	
		7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ペンチオピラド		
	2,000倍(100～300g)					50ml	灰色かび病、菌核病、葉かび病、すすかび病、斑点病								
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33g	灰色かび病、菌核病、葉かび病、すすかび病、斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ		
		M7	ベルクート水和剤	収穫前日まで	2回以内	6,000倍(100～300g)	16g	灰色かび病、葉かび病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩		
		40	レーバフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	マンジプロバミド		
		BM2	エコショット	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50g	葉かび病	○	×	水和剤	散布	パチルス ズブチリスD747		
		NC	カリグリーン	収穫前日まで	—	800倍(100～300g)	125g	灰色かび病、葉かび病、さび病	○	×	水溶剤	散布	炭酸水素カリウム		
	800～1,000倍(100～300g)					125～100g	うどんこ病								
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000～2,000倍(150～300g)	100～50ml	疫病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍(100～300g)	100g	かいよう病、斑点細菌病、葉かび病、疫病、輪紋病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅		
		M1	クプロシールド	—	—	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅		
	1,000倍(100～300g)					100ml	かいよう病、すすかび病、葉かび病								
		M1	コサイド3000	—	—	1,000倍(100～300g)	100g	疫病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅		
	M1	ドイツボルドーA	—	—	500倍(100～300g)	200g	疫病、葉かび病、斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅			
	M1	Zボルドー	—	—	400～600倍(100～300g)	250～167g	疫病、輪紋病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅			
500倍(100～300g)					200g	すすかび病									
	M5	ダコニール1000	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	うどんこ病、疫病、褐色輪紋病、すすかび病、炭疽病、灰色かび病、葉かび病、斑点病、輪紋病	○	×	フロアブル	散布	TPN			

◆銅剤の使用について・・・散布後、果面に薬が付着しやすいので収穫期は注意して散布しましょう。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤(非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畝間処理)	農業総使用回数、合わせて3回以内	300～500ml(100～150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農業の使用回数に注意
		ザクサ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)		300～500ml(100～150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農業の使用回数に注意

# ミニトマト登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期	1回	3kg	—	ネキリムシ類			粒剤	株元散布	ベルメトリン	
		4A	アドマイヤー1粒剤	育苗期後半 定植時	1回	0.5~1g/株 1~2g/株	— —	コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類	—	—	粒剤	株元散布 植穴土壌混和	イミダクロプリド	
		4A	ベストガード粒剤	播種時又は鉢上げ時 育苗期 定植時	1回	5g/培土10 1~2g/株 1~2g/株 2g/株	— — — —	アブラムシ類、コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類	—	—	粒剤	育苗培土混和 株元処理 植穴土壌混和	ニテンピラム	
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、クロバネキノコバエ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	
		4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g) 2,000~3,000倍(100~300g)	50g 50~33g	カメムシ類 コナジラミ類				散布		
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	アブラムシ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 50ml	コナジラミ類、トマトサビダニ アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフル	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		28	ブリロッソ粒剤オメガ	鉢上げ時 育苗期後半~定植時	1回	2g/株	— —	コナジラミ類 アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、トマトキバガ	— —	— —	粒剤	育苗土壌混和 株元散布	シアントラニリプロール	同成分剤の使用回数に注意
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25ml 50ml	オオタバコガ アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、トマトキバガ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	同成分剤の使用回数に注意 銅剤との混用注意
		28	ブレハソソフロアブル5	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	100倍(25ml/株) 200倍(50ml/株) 2,000倍(100~300g)	— — 50ml	コナジラミ類、ハモグリバエ類 オオタバコガ、ハモグリバエ類	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニリプロール	
		28	ヨーバルフロアブル	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	200倍(25ml/株) 2,500~5,000倍(100~300g) 2,500倍(100~300g)	— 40~20ml 40ml	ハモグリバエ類、アブラムシ類、コナジラミ類 オオタバコガ、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、アブラムシ類 コナジラミ類、アザミウマ類、トマトキバガ	速	長	フロアブル	灌注 散布	テトラニリプロール	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g) 2,000~4,000倍(100~300g)	50g 50~25g	トマトキバガ オオタバコガ、ハスモンヨトウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g) 2,500倍(100~300g)	40~20ml 40ml	オオタバコガ、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、トマトキバガ コナジラミ類	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67ml	コナジラミ類、トマトサビダニ、ハモグリバエ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 100ml 50ml	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ トマトキバガ オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、トマトサビダニ	速	短	乳剤	散布	レビメクテン	
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、トマトサビダニ、ハモグリバエ類、コナジラミ類、トマトキバガ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	同成分剤の使用回数に注意
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67g	オオタバコガ、ハモグリバエ類	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、ルフェエロン	同成分剤の使用回数に注意
		9B	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アブラムシ類、コナジラミ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ビメトロンジン	
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、ナメバグニ、ミカンキイロアザミウマ、トマトサビダニ、トマトキバガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル	
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類、トマトサビダニ	中	中	フロアブル	散布	ビフェナゼート	
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類、コナジラミ類、トマトサビダニ、アザミウマ類	遅	長	フロアブル	散布	スピロテトラマト	
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	アブラムシ類 ミカンキイロアザミウマ、コナジラミ類	遅	長	顆粒水溶剤	散布	フロニカミド	
		30	グレーション乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	ハスモンヨトウ、コナジラミ類、ハモグリバエ類、アザミウマ類、オオタバコガ、トマトサビダニ、トマトキバガ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		—	サンクリスタル乳剤	収穫前日まで	—	300倍(150~500g) 300~600倍(150~500g)	333ml 333~167ml	アブラムシ類、コナジラミ類 ハダニ類、うどんこ病、トマトサビダニ	中	短	乳剤	散布	脂肪酸グリセリド	

# ジュース用トマト登録農薬適用表(1) (殺菌・除草・展着)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	TPNを含む農薬の総使用回数、合せて6回以内	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		M5	ダコニール1000	播種時又は活着後 但し、定植14日後まで	4回以内 (土壌灌注は2回まで)	TPNを含む農薬の総使用回数、合せて6回以内	1,000倍 (32/1㎡)	—	苗立枯病(リゾトニア菌)	○	×	フロアブル	土壌灌注	TPN	同成分剤の使用回数に注意	
				収穫前日まで			1,000倍 (100~300g)	100ml	疫病、葉かび病、輪紋病、褐色輪紋病、うどんこ病、灰色かび病、炭疽病、すすかび病、斑点病			○	×	フロアブル	散布	
		11、M5	アミスターオプティフロアブル	収穫前日まで	4回以内	アゾキシトロンを含む農薬の総使用回数、合せて4回以内	1,000倍 (100~400g)	100ml	疫病、葉かび病、炭疽病 灰色かび病、すすかび病、斑点病	○	○	フロアブル	散布	TPN、アゾキシトロン	同成分剤の使用回数に注意 農薬剤使用禁止	
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内		2,000倍 (100~300g)	50ml	灰色かび病、葉かび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシトロン	同成分剤の使用回数に注意	
		M7	ベルコート水和剤	収穫前日まで	3回以内		3,000~6,000倍 (100~300g)	33~16g	灰色かび病、葉かび病	○	×	水和剤	散布	イミノダジナルベニル酸塩		
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数、合せて6回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	66~50g	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル		
		1、10	ゲッター水和剤	収穫前日まで	5回以内		1,000~1,500倍 (100~300g)	100~66g	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	シエトファンカルブ、チオファネートメチル		
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内		1,000~1,500倍 (100~300g)	100~66ml	灰色かび病、菌核病、葉かび病	○	△	顆粒水和剤	散布	ボスカリド		
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内		2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33g	灰色かび病、葉かび病、菌核病、 斑点病、すすかび病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリハシカルブ		
		11、27	ホライズンドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内		1,500~2,500倍 (150~300g)	66~40ml	疫病	○	○	顆粒水和剤	散布	シモキサリル、ファミキサン		
							2,500倍 (150~300g)	40ml	葉かび病							
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内		1,000~2,000倍 (150~300g)	100~50ml	疫病	○	○	フロアブル	散布	シアゾファミド		
		40	レーバフロアブル	収穫前日まで	3回以内		1,500~2,000倍 (100~300g)	66~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	マジプロバミド		
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内		1,000倍 (100~300g)	100g	疫病、葉かび病、輪紋病、斑点細菌病、 かいよう病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスカマイジン、 塩基性塩化銅		
		M1	ICボルドー66D	—	—		50倍 (100~300g)	2kg	疫病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
	M1	Zボルドー	—	—		400~600倍 (100~300g)	250~166g	疫病、輪紋病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅			
						500倍 (100~300g)	200g	すすかび病								
	M1	ドイツボルドーA	—	—		500倍 (100~300g)	200g	疫病、葉かび病、斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅			
	—	—	石灰ボルドー液	—	—	4~4式ボルドー液	—	疫病、夏疫病	○	×		散布	生石灰			

※「アミスターオプティフロアブル」は展着剤と混用しない。(葉害の恐れがあるため)

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期(収穫14日前まで)	150~200ml (100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スミ/カビワ除く)	乳剤	雑草茎葉散布 または全面散布	セキジソム	
		バスタ液剤	雑草生育期定植前又は畦間処理(収穫前日まで)	300~500ml (100~150g)	農薬総使用回数、合せて3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	雑草生育期定植前又は畦間処理(収穫前日まで)	300~500ml (100~150g)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		クレマートU粒剤	定植活着後(定植10日後まで)	4~6kg	1回	一年生雑草	粒剤	畦間株間土壌散布	ブタミホス	
		ラウンドアップマックスロード	耕起前まで(雑草生育期)	200~500ml(100g)	1回	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	



# ジュース用トマト登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート	
		4A	ベストガード粒剤	育苗期	1回	1~2g/株	—	コナジラミ類、アブラムシ類	中	長	粒剤	株元処理	ニテンピラム	
		定植時		1~2g/株		—	アブラムシ類、コナジラミ類	補穴処理土壌混和						
		は種時又は鉢上げ時		2g/株		—	ハモグリバエ類	育苗培土混和						
		育苗期後半		5g/培土0		—	アブラムシ類、コナジラミ類	散布						
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~3000)	100~50g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類 クロハネキノコバエ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~3000)	50g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセチムプリド	
		28	ブレバソフフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回	100倍(1株当り25ml) 又は200倍(1株当り50ml)	—	ハモグリバエ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニプロール	
		収穫前日まで		3回以内	合計4回 定植時1回	1,000~2,000倍 (100~3000)	100~50ml	ハモグリバエ類				散布		
		28	ブレバソフ粒剤	育苗期後半~定植時		1回	1g/株	—	ネキリムシ類、ハモグリバエ類	速	長	粒剤	株元散布	クロラントラニプロール
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍 (100~3000)	50~25g	ハスモンヨウ、オオタバコガ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルバシジメット	
		2,000倍 (100~3000)				50g	トマトキハガ							
		28	ベリマークSC	育苗期後半~定植当日	1回	400株当り10~200(1株当り25~50ml)	400株あたり25ml	アブラムシ類、コナジラミ、アザミウマ類 ハモグリバエ類、トマトキハガ	速	長	フロアブル	灌注	シアントラニプロール	コナジラミ類どうするか?
		30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~3000)	50ml	コナジラミ類、トマトサビダニ、アザミウマ類、ハモグリバエ類 オオタバコガ、ハスモンヨウ、トマトキハガ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍 (100~3000)	100ml	ハダニ類、トマトサビダニ	中	中	フロアブル	散布	ビフェナゼート	
	UN、M10		モレスタン水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500~2,000倍 (100~3000)	66~50g	コナジラミ類、トマトサビダニ	中	中	水和剤	散布	キキサリオン系	
		22A	トルネードエースDF	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~3000)	50g	ハスモンヨウ、オオタバコガ、トマトキハガ	速	長	顆粒水和剤	散布	インドキサカルブ	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍 (100~3000)	20g	オオタバコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサト	
		6	アフファーム乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍 (100~3000)	50ml	オオタバコガ、トマトサビダニ、コナジラミ類、 ハモグリバエ類、トマトキハガ	速	短	乳剤	散布	エマクチン安息香酸塩	
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍 (100~3000)	66ml	ハモグリバエ類、トマトサビダニ、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~3000)	100~50ml	コナジラミ類、ミソキイロアザミウマ、(トマトキハガ 1,000倍)	速	短	乳剤	散布	レピメクテン	
		2,000倍 (100~3000)				50ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、ハモグリバエ類、 トマトサビダニ							
		11A	エスマルクDF	発生初期(収穫前日まで)	—	1,000~2,000倍 (100~3000)	100~50g	アオムシ、コナガ	中	中	顆粒水和剤	散布	BT	
		1,000倍 (100~3000)				100g	オオタバコガ、ヨトウムシ、トマトキハガ							
		11A	トアローフロアブルCT	発生初期(収穫前日まで)	—	500~1,000倍	200~100ml	オオタバコガ	中	中	フロアブル	散布	BT	
		1,000~2,000倍				100~50ml	アオムシ、コナガ							
	11A	チューンアップ顆粒水和剤	発生初期(収穫前日まで)	—	2,000~3,000倍 (100~3000)	50~33g	アオムシ、コナガ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	中	中	顆粒水和剤	散布	BT		
	2,000倍 (100~3000)				50g	ヨトウムシ、トマトキハガ								
	3,000倍 (100~3000)				33g	ウリノメイガ								

# なす登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	持続性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤	1	ペンレート水和剤	定植後～収穫14日前まで	3回以内	1,000倍 (400～600ml/株)	—	半身萎凋病	○	○	水和剤	土壌灌注	ペノミル		
					500倍 (200～300ml/株)	—								
			収穫前日まで		2,000～3,000倍 (100～300ℓ)	50～33g	灰色かび病、黒枯病							
					2,000倍 (100～300ℓ)	50g	菌核病、褐紋病、フザリウム立枯病							
	1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500～2,000倍 (100～300ℓ)	67～50g	灰色かび病、菌核病、黒枯病	○	○	水和剤	散布	テオファネートメチル		
	2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000～1,500倍 (100～300ℓ)	100～67g	灰色かび病、黒枯病	○	△	水和剤	散布	イブロジオン		
					1,000倍 (100～300ℓ)	100g	すすかび病、菌核病、褐色斑点病							
	3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	3,000～5,000倍 (100～300ℓ)	33～20g	うどんこ病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール		
					3,000倍 (100～300ℓ)	33g	すすかび病							
	9	フルピカフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000～3,000倍 (100～300ℓ)	50～33ml	うどんこ病、灰色かび病、黒枯苗	○	△	フロアブル	散布	メバニピリム		
	11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍 (100～300ℓ)	50ml	うどんこ病、すすかび病、褐色斑点病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン		
	11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍 (100～300ℓ)	33ml	うどんこ病、すすかび病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル		
	M7	ベルコート水和剤	収穫前日まで	3回以内	農業総使用回数、合せて3回以内	3,000倍 (100～300ℓ)	33g	うどんこ病、灰色かび病、すすかび病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩	同成分剤の使用回数に注意
	M7、17	ダイマジン	収穫前日まで	3回以内		1,500倍 (150～300ℓ)	67g	すすかび病、灰色かび病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩、フェンハキサド	同成分剤の使用回数に注意
21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍 (150～300ℓ)	50ml	褐色腐敗病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド			
M5	ダコニール1000	収穫前日まで	4回以内	農業総使用回数、合せて4回以内	1,000倍 (100～300ℓ)	100ml	すすかび病、灰色かび病、黒枯病、うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	TPN	同成分剤の使用回数に注意	
M5、40	プロボーズ顆粒水和剤	収穫前日まで	4回以内		1,000倍 (100～300ℓ)	100g	すすかび病、褐色腐敗病	○	○	顆粒水和剤	散布	TPN、ベンチアハリカルブイソプロピル	同成分剤の使用回数に注意	
M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内	700倍 (100～300ℓ)	143ml	うどんこ病、すすかび病	○	×	乳剤	散布	DBEDC			
7	パレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍 (100～300ℓ)	50～25g	うどんこ病、菌核病、黒枯病、すすかび病、灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド			

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考	
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	3回以内	農業総使用回数、合せて3回以内	300～500ml (100～150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
雑草除草剤 (非選択性)		ザクサ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	3回以内		300～500ml (100～150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
雑草除草剤 (選択性)		クレマート乳剤	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)	1回		200～400ml (100～150ℓ)	一年生雑草	液剤	土壌全面散布	ブタミホス	

# なす登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRAO コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100a調査時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	持続性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	定植前	1回	20kg 15~20kg	—	オンシツコナジラミ、ハダニ類、ミナミキイロアザミウマ ネコブセンチュウ	遅	長	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
		4A	アクトラ粒剤5	育苗期後半 定植時	1回	1g/株 1g/株 2g/株	—	アブラムシ類 アブラムシ類、コナジラミ類、マメハモグリバエ、 ミナミキイロアザミウマ、コガネムシ類幼虫 ミカンキイロアザミウマ	中	長	粒剤	株元散布 植穴処理	チアメトキサム		
		2B	ブリロッソ粒剤オメガ	育苗期後半~定植時	1回	2g/株	—	ハモグリバエ類、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類			粒剤	株元散布	シアントラニリプロール		
		4A	アクトラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g) 3,000倍(100~300g)	50g 33g	ミナミキイロアザミウマ、マメハモグリバエ、テントウムシダマシ類 アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム		
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	ミナミキイロアザミウマ、ハモグリバエ類、アブラムシ類、 コナジラミ類、テントウムシダマシ類、カメムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン		
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ、コナジラミ類、カメムシ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム		
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50ml 50ml	コナジラミ類 アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル		
		23	モベントフロアブル	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	3回以内 (灌注は1回以内)	500倍(1株当り50ml) 500倍(1株当り25~50ml) 2,000倍(100~300g)	— — 50ml	アザミウマ類、チャノホコリダニ、ハダニ類、うどんこ病 アブラムシ類、コナジラミ類 アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、 チャノホコリダニ、ハダニ類、うどんこ病、コナカイガラムシ類	遅	長	フロアブル	灌注 散布	スピロテトラマト	養蜂注意	
		28	ブレバソフフロアブル5	育苗期後半~定植当日 収穫前日まで	3回以内 (定植時1回以内、 散布2回以内)	100倍(1株当り25ml) 200倍(1株当り50ml) 1,000~2,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	— — 100ml 50ml	ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、ネキリムシ類 ハモグリバエ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ、オオタバコガ	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニリプロール		
		28	ヨーバルフロアブル	育苗期~定植当日 収穫前日まで	1回以内 3回以内	4回以内(灌 注は1回、散 布は3回以 内)	200倍(1株当り25ml) 2,500倍(100~300g) 2,500~5,000倍(100~300g)	— 40ml 40~20ml	アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、オオタバコガ アザミウマ類、コナジラミ類 ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハモグリバエ類、 アブラムシ類	速	長	フロアブル	灌注 散布	テトラニリプロール	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 4,000倍(100~300g)	50~25g 25g	ハスモンヨトウ、オオタバコガ アズキノメイガ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド		
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g) 2,500倍(100~300g)	40~20ml 40ml	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ コナジラミ類	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム		
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g) 2,500~5,000倍(100~300g)	20g 40~20g	オオタバコガ アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハモグリバエ類、 アザミウマ類、チャノホコリダニ、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩		
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67ml	ハダニ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類、チャノホコリダニ	速	短	乳剤	散布	ミルベメクチン		
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2000倍(100~300g)	50ml	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、 オオタバコガ、ハダニ類、チャノホコリダニ、テントウムシダマシ類	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル		
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25ml 50ml	ミナミキイロアザミウマ、カメムシ類、オオタバコガ ハダニ類、マメハモグリバエ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン		
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ピフェナゼート		
		25A	ダニサラパフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~350g)	100ml	ハダニ類	速	中	フロアブル	散布	シフルメトフェン		
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	アブラムシ類 コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ、	遅	長	ドライフロアブル	散布	フロニカミド		
		30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	コナジラミ類、アザミウマ類、ハダニ類、ハモグリバエ類、オオタバコガ、 ハスモンヨトウ、チャノホコリダニ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド		
		UN	プレオフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、アザミウマ類、 ハモグリバエ類	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
		—	サンクリスタル乳剤	収穫前日まで	—	300倍(150~500g) 300~600倍(150~500g)	333ml 333~167ml	アブラムシ類、コナジラミ類 ハダニ類、チャノホコリダニ、うどんこ病	中	短	乳剤	散布	脂肪酸グリセリド		

# いちご登録農薬適用表(1) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	IRAC 8B	クロルピクリン錠剤	—	1回	1穴当たり1錠(30×30cm毎に1錠)	—	萎黄病、炭疽病、センチュウ類、疫病	—	—	錠剤	土壌くん蒸	クロルピクリン	
						1㎡当たり10錠	—	一年生雑草、萎黄病						

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺 虫 剤	—	—	エコビタ液剤	定植前	—	100倍	—	ハダニ類、アブラムシ類、うどんこ病	中	短	液剤	苗浸漬 (10秒～1分)	還元澱粉糖化物		
				収穫前日まで		100～200倍	1ℓ	コナジラミ類				散布			
	23	—	モベントフロアブル	育苗後半～定植当日	1回	250倍(25ml/株)	—	アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類	遅	長	フロアブル	灌注	スピロテトラマト	蜂、カブリダニ類(天敵)、マルハナバチ 注意	
						500倍(25～50ml/株)	—	コナジラミ類、アブラムシ類							
						500倍(50ml/株)	—	アザミウマ類、ハダニ類							
	劇	4A	—	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300ℓ)	50～25g	アブラムシ類、カキハダヨコバイ、チハクロハネキノコバエ	中	長	顆粒 水溶剤	散布	アセタミプリド	
							2,000倍(100～300ℓ)	50g	コナジラミ類、アザミウマ類						
	—	4A	—	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300ℓ)	50g	アブラムシ類、チハクロハネキノコバエ、コナジラミ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	
							5,000倍(100～300ℓ)	20g	アザミウマ類						
	—	5	—	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍(100～300ℓ)	40～20ml	アザミウマ類、ハスモンヨウ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
							2,500倍		コナジラミ類、クロハネキノコバエ類						
	—	9B	—	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100～300ℓ)	20g	コナジラミ類、アブラムシ類	中	中	顆粒 水和剤	散布	ビメロジシ	
							3,000～4,000倍(100～300ℓ)	33～25g	コナジラミ類、アブラムシ類						
	—	9B	—	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300ℓ)	50～25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒 水和剤	散布	フロニカミド	
							2000倍(100～300ℓ)		50g						
	劇	13	—	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300ℓ)	50ml	ハダニ類、ハスモンヨウ、シラメンホリダニ、ミカンキイロアザミウマ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
							4,000倍(100～300ℓ)	25ml	ハスモンヨウ、アザミウマ類、クロハネキノコバエ						
	—	28	—	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300ℓ)	50～25ml	ハスモンヨウ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	飼剤との混用注意
							2,000倍(100～300ℓ)	50ml	コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類						
	—	4C	—	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300ℓ)	100～50ml	コナジラミ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフルル	
2,000倍(100～300ℓ)							50ml	アブラムシ類							
—	30	—	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300ℓ)	50ml	アザミウマ類、ハスモンヨウ、ハダニ類、オオタバコガ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド		
						1,000倍(150～300ℓ)	100g	アブラムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ							
—	6	—	アフーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300ℓ)	50ml	オオタバコガ、ハスモンヨウ、ハダニ類、ヨウムシ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩		
						2,000倍(100～300ℓ)	50g	ハダニ類、シラメンホリダニ							
—	6	—	コロマイト水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300ℓ)	50g	ハダニ類、シラメンホリダニ	速	短	水和剤	散布	ミルベメクテン		
						2,000～3,000倍(100～300ℓ)	50～33g	ハダニ類							
劇	21A	—	ピラニカEW	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍(150～300ℓ)	50～33ml	ハダニ類	速	長	乳剤	散布	テブフェンピラド		
						2,000倍(150～300ℓ)	50ml	アブラムシ類、うどんこ病							
—	20D	—	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100～300ℓ)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ピフェナゼート		
						1,000倍(100～350ℓ)	100ml	ハダニ類							
—	25A	—	スターマイトフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300ℓ)	50ml	ハダニ類、シラメンホリダニ	速	長	フロアブル	散布	シエノピラフェン		

## いちご登録農薬適用(2) (殺菌)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		21	ランマンフロアブル	育苗期	2回以内	500~1,000倍 (50ml/株)	200~100ml	疫病	○	△	フロアブル	株元灌注	シアゾファミド		
				生育期(但し収穫30日前まで)	2回以内	500~1,000倍 (100ml/株)	200~100ml								
			19	ポリオキシンAL水和剤	収穫開始14日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100ml	灰色かび病、うどんこ病	○	○	水和剤	散布	ポリオキシン複合体	
			11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	本圃3回以内 苗床4回以内	1,500~2,000倍 (100~300ℓ)	67~50ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	
					2,000倍 (100~300ℓ)		50ml	炭疽病							
					1,500倍 (100~300ℓ)		67ml	灰色かび病							
			11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000~5,000倍 (100~300ℓ)	33~20ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
			M7	ベルコート水和剤	育苗期(定植前)	5回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	うどんこ病、炭疽病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩	
				収穫前日まで(生育期)	5回以内	4,000倍 (100~300ℓ)	25g	うどんこ病							
			2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,500倍 (100~300ℓ)	67g	灰色かび病・菌核病・黒斑病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
		劇	2	ロブラールくん煙剤	収穫前日まで	4回以内	100g/300~400㎡	—	灰色かび病	○	△	くん煙剤	くん煙	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
			3	サブロール乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	うどんこ病	○	○	乳剤	散布	トリホリン	
			3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	3,000倍 (100~300ℓ)	33g	じゃのめ病、輪斑病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
					3,000~5,000倍 (100~300ℓ)	33~20g	うどんこ病								
		劇	3	トリフミンジェット	収穫前日まで	5回以内	50g/400㎡	—	うどんこ病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
			7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍 (100~300ℓ)	100~67ml	灰色かび病	○	△	顆粒水和剤	散布	ボスカリド	
			7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	うどんこ病、灰色かび病、輪紋病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
		9、U13	ショウチノスケフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	うどんこ病、灰色かび病	○	×	フロアブル	散布	フルチアニル、メバニピリム		
		M10	モレスタン水和剤	収穫前日まで	2回以内	3,000~4,000倍(100~300ℓ)	33~25g	うどんこ病	○	△	水和剤	散布	キノキサリン系		
		M1	サンヨール	定植前	1回	500倍	200ml	うどんこ病	○	×	乳剤	瞬間~5分間苗浸漬	DBEDC		
					800倍	125ml	5分間苗浸漬								
			収穫前日まで	6回以内	500~1,000倍 (100~300ℓ)	200~100ml	散布								
						500倍 (100~300ℓ)	200ml	灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類							

◆炭疽病は薬剤への耐性がつきやすいので、同じ剤を続けて使わず3剤くらいを交替で使用して下さい。(アミスター20フロアブルは他県で炭疽病に抵抗がつかせてしまっているため、炭疽病防除には使用しない)

## いちご育苗期間農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		M3	ジマンダイゼン水和剤	仮植栽培期 但し収穫76日前まで	6回以内	600倍 (100~300ℓ)	167g	じゃのめ病、炭疽病	○	×	水和剤	散布	マンゼブ		
		M1	キノドーフロアブル	育苗期	3回以内	100倍 (5ml/株)	—	炭疽病	○	×	フロアブル	ク라운部	有機銅		
						500~800倍 (100~300ℓ)	200~125ml	炭疽病				散布			
			M7	ベルコート水和剤	育苗期(定植前)	5回以内	1,000倍 (200~300ℓ)	100g	うどんこ病、炭疽病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩	
			21	ランマンフロアブル	育苗期	2回以内	500~1,000倍 (50ml/株)	200~100ml	疫病	○	△	フロアブル	株元灌注	シアゾファミド	
		M4	オーソサイド水和剤80	収穫開始14日前まで	5回以内	800倍 (100~300ℓ)	125g	芽枯病、灰色かび病、炭疽病	○	×	水和剤	散布	キャプタン		

◆上記薬剤は一部を除き育苗期間中しか使えないので注意して下さい。

◆「ベルコート水和剤は本圃でも使用できるが、使用倍率、使用回数、使用時期及び適用病害虫が異なるので間違えないようにして下さい。(別紙適用表参照)

◆炭疽病の発生が懸念される場合(野天での育苗の際の長雨や、頭上灌水で高温期灌水回数が多くなるような時)は5日~1週間ごとに消毒を行って下さい。